

# TOHATSU

# PARTNER

2012年4月1日発行 / 春号

# VOL.86

2012年10月20日  
トーハツ株式会社は設立80周年を迎えます

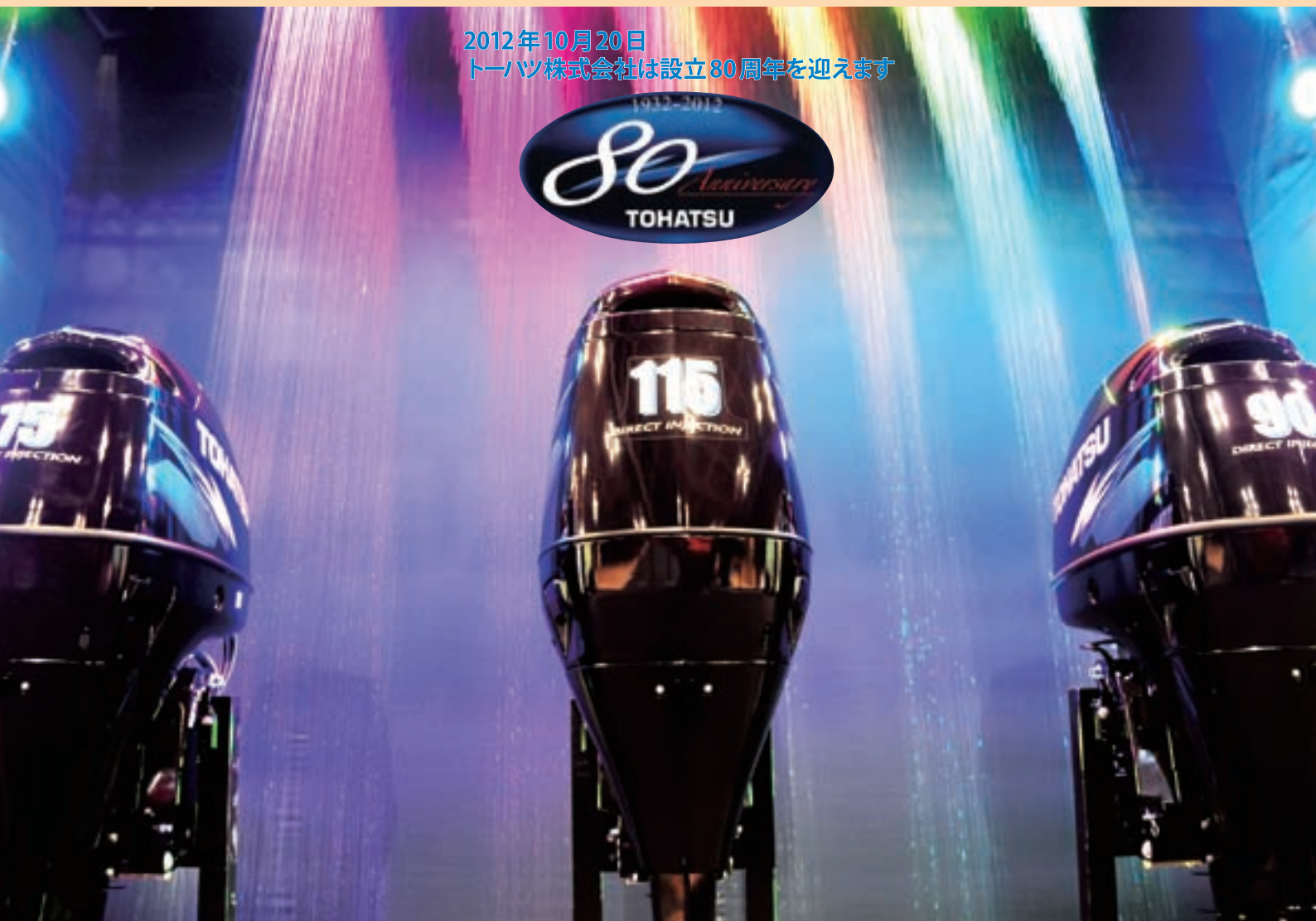


Photo : トーハツ水と光のファンタジー(インターナショナルボートショー)

## CONTENTS

- |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ●消防庁主催 平成23年度消防庁消防団等表彰式を開催 … P2    | ●関西地区でパイロット店向け技術講習会 …………… P5       |
| ●板橋区の青年優秀技能者・技術者表彰 …………… P3        | ●島原市の消防団が機関員講習会 …………… P6           |
| ●浜松市で「救急資器材展2012 in 浜松」開く …………… P3 | ●南砺市消防団の冬季幹部講習会 …………… P6           |
| ●福島県須賀川市へVF53AS可搬ポンプ一括納入 …………… P3  | ●桑名市消防団合同訓練にトーハツが機関員講習会で協力… P6     |
| ●横浜で国際ボートショー2012開幕 …………… P4~5      | ●関西地区でポンプ技術講習会 …………… P7            |
| ●北海道でパイロット店技術講習会 …………… P4          | ●トーハツポンプ販売技術委員会 …………… P7           |
| ●マリンBOXで2馬力試乗会 …………… P4            | ●中国の消防幹部がトーハツで研修 …………… P7          |
| ●2012新潟ボートショー開幕 …………… P5           | ●東京消防庁へVC72BS・コワレンゾー大量納入 …………… 裏表紙 |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

# 消防庁主催 「平成23年度消防庁消防団等表彰式 及び消防団協力事業所表示証交付式」を開催 〔トーハツへ消防団車両等支援の感謝状〕



未曾有の大被害をもたらした東日本大震災から早くも1年。深い苦悩と鎮魂の日々の中で、いま、復興への足音がようやく高まりつつあります。防災を担う総務省消防庁では、この1年、震災のみならず様々な形で貢献のあった消防団、また震災被災地の消防団へ車両等の支援活動を行った団体等を表彰する式典として、去る2月20日、平成23年度「消防庁消防団等表彰式及び消防団協力事業所表示証交付式」を、東京・港区虎ノ門にある日本消防会館「ニッショーホール」で開催。久保消防庁長官をはじめ全国から防災関係者など多数出席の下、東日本大震災で被災された方々に対して黙祷をささげ厳かに執り行われました。

式典は3部構成からなり、第1部では12名の消防団員による意見発表会や、地域への貢献が認められた消防団及び団員



などの表彰。また第2部では、従業員など消防団員の確保へ協力した事業所等へ授与される「消防庁消防団協力事業所表示証」などの交付式。次に第3部では、被災地への消防団車両等支援感謝状授与式などが行われ、それぞれに久保消防庁長官が表彰状を授与。司会の平野啓子さん(語り部)を進行役に、約3時間余にわたる大イベントでした。

また消防団車両等支援感謝状の授与式では、東日本大震災による消防団車両等の支援に多大の功績があったとして、「トーハツ株式会社」が会社として消防庁より表彰され、授与式では感謝状が久保消防庁長官よりトーハツを代表して小山取締役営業本部長に手渡されると、会場から大きな拍手が贈られました。

日本全国から、沢山の表彰状授受者が誕生し盛會を極めた同式典も、被災地の1日も早い復興を祈念しつつ閉幕しました。

(防災営業部 / 志津川)



## 板橋区の 青年優秀技能者・技術者表彰 トーハツから三人の受賞

—東京商工会議所板橋支部 新年賀詞交歓会—



左から 横田理人さん(技術部) 堀知則さん(駒ヶ根工場)  
原 永一さん(駒ヶ根工場)

東京商工会議所板橋支部(会長/吉村健正氏)の平成24年新年賀詞交歓会が、去る1月18日、今年も東京・池袋にあるホテルメトロポリタンで開かれ、昨年の東日本大震災や原発事故、更に歴史的超円高による日本経済の

閉塞感を吹き飛ばそうと、多数の商工業者などが参加、盛会を極めました。

賀詞交歓会の前に行われた「第5回板橋青年優秀技能者・技術者表彰」では、トーハツからめでたく3人の受賞者が選出され、会場から大喝采を浴びました。受賞されたのは技術部・横田 理人氏、駒ヶ根工場・堀 知則氏、同工場・原 永一氏の三氏で、いずれも技術・技能者として船外機の開発や可搬消防ポンプの製造に携わっており、今後は板橋区の産業基盤を支える技術・技能後継者の一人としてトーハツ製品の更なる品質向上に寄与して頂きたいものです。

閉会后、受賞された三氏は、終始にこやかにカメラに応じ、金子社長や矢内常務と堅い握手を交しました。この度の受賞、誠にありがとうございます。

(総務部/千葉)



金子社長、矢内常務とともに記念撮影

## 救急関連のプロツールを多数展示

### 浜松市で 「救急資器材展2012 in 浜松」開く

災害による救命救助から感染症対策まで、様々な緊急医療への関心が高まる中、第20回全国救急隊員シンポジウムが、去る2月2日(木)・3日(金)の両日、静岡県浜松市にあるアクトシティ浜松で開かれたのに併せ、同会場内で「救急資器材展2012 in 浜松」が同時開催されました。

同資器材展に前回より初参加したトーハツでは、ターゲットを



普段接することの少ない救急関連ユーザーに絞り、徹底したアピール作戦を展開。とりわけ信頼性の高い感染症対策製品のポータブル・アイソレーター、CPC化学防護服、また救急用資器材ではバイタル測定キット、CPR訓練用マネキン、イス形布担架、GOストレッチャー、ハンドーEなどをメインに展示した他、救急隊員用の肘・膝パットやゴーグルなども展示しました。

一方、2日間で延べ5,000人余の入場者で賑

わった会場内では、同日実施した「止血パッド、着着包帯、STRE AMライト、シリコンバンド、ヘルメット/ベルト用ライト取付用具」などを扱ったトーハツ用品即売会が、即日完売となる好盛況。更にトーハツ・ブースにご来場賜った消防・病院・海上保安庁関係者などから沢山のご意見ご感想も頂きました。有難く厚くお礼申し上げます。

(防災営業部 救助・救急資器材担当/友田)

## 福島県須賀川市へ 「VF53AS」を5台一括納入

地域防災計画を策定していた福島県須賀川市では、今後の主力消防ポンプにトーハツ4ストローク「VF53AS」の採用を決定。去る2月26日、積載車8台と共に「VF53AS」5台が一括納入されました。

納入に伴う交付式には、同市職員をはじめ多数の消防関係者などが出席。橋本市長から防災への決意が述べられた後、佐藤消防団長へ貸与証が手渡されて、各分団へ交付されました。また式典終了後には、消防団員への取扱い説明や試運転を実施。間近で観察していた消防団員は、エンジン音の静粛性など4ストロークポンプの違わぬ性能に改めて感心していました。

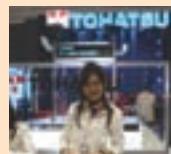
トーハツ4ストロークポンプをご採用頂きました須賀川市、また販売にご尽力頂きました和田自動車(株)様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災東北/中島)



# ジャパン インターナショナル ボートショー 2012

JAPAN  
INTERNATIONAL  
BOAT SHOW  
2012



## in パシフィコ横浜オープン!



### トーハツ設立80周年へ新たな展開

“やっぱり海が好き”。この海への回帰をキーワードに、去る3月1日から4日間、「ジャパンインターナショナル ボートショー 2012」が、マリン関連企業172社が参加してパシフィコ横浜(屋内展示)、及び横浜ベイサイドマリーナ(海上展示)の両会場で開幕。屋内会場は“みなとみらい”に隣接する複合都市内の利点もあって、オープン前から行列ができる程の好調ぶり。因みに会期中の入場者数は延べ35,060名(舟艇工業会調べ)に達し、マリンレジャーの変わらぬ顕在ぶりを示しました。

屋内会場の正面入り口〔C〕ゾーン奥に設置されたトーハツブースでは、今年設立80周年を迎えるにあたり、歴史の重みと伝統を前面に掲げたイメージで統一。とりわけブース正面を彩る水と光のファンタジーは、「80周年」のロゴなどが次々と浮き出てくるユニークさが圧巻。また日本初の船外機量産メーカーとしての“伝統と信頼”をシンボライズ化した量産品1号機の展示など、トーハツの設立80周年へ新たな展開をアピールしました。

一方商品展示では、優れたポテンシャルを誇るTLDI直噴船外機シリーズが

### 神奈川県下の「マリンBOX100」で 春のホープボート&トーハツ試乗会

パシフィコ横浜で行われたボートショーが閉幕して間もない、去る3月10日から11日の両日、神奈川県下のトーハツ販売店「マリンBOX100」において、ホープボートが試乗会を開催。トーハツ2馬力船外機をセットした試乗艇が人気を集めました。

初日の10日は生憎のお天気ながら、翌日は穏やかなボーテイング日和。早春の砂浜で休日を楽しむ沢山のお客様に試乗していただきました。とりわけこの日はボートショー直後の週末とあって、購入前提で足を運んで下さったのか、係員の説明に熱心に耳を傾けるユーザーが多く見られました。

一方砂浜では、ランニングやビーチコーミングをする人などで賑わい、マリンレジャーを身近に感じる湘南の“逗子”という土地柄もあってか、通りがかりの方々も気軽に立ち寄られるなど、いよいよシーズンイン間近という印象を受けました。この度の試乗会では、船外機の載せ替えに前向きな商談なども頂き、今後に期待が膨らむ試乗会でした。

開催にあたって大変ご協力頂きましたホープボート様、並びにマリンBOX100様には厚くお礼申し上げます。

(マリン課/石丸)



### 北海道ブロックで 第2回サービスピスパイロット店技術講習会

第2回目を迎えた北海道ブロックの船外機サービスピロット店技術講習会が、去る1月26日、札幌中心部のすすきのグリーンホテルで開かれました。道内の天候はあいにくの荒れ模様でしたが、道内各地より7店舗の方々が参加して下さいました。

今回の講習内容は、腐食全般についての座学と実験を交えて実施。特に海水使用時の船外機にどのようなメカニズムで腐食が発生するのかなど水槽内での実験では、腐食の恐ろしさを痛感。また、その対策に必要なアノードの早期交換等の重要性も学びました。受講者からは様々な質問や疑問点も提起され、腐食問題への高い関心と対策への真剣さが窺えました。

一方、夜の懇親会も大いに盛り上がり、メーカー、パイロット店どうしの意見交換も活発に行われるなど、親密なコミュニケーションの機会となりました。悪天候の中ご参加頂きました各店の皆様には厚くお礼申し上げます。

(マリン北海道/山中)





## TF-250SC艇にユーザー好反応 2012新潟ボートショー 開幕!

今や地域マリンレジャーの一大イベントとして、しっかり地元 roots を下ろした新潟ボートショー。今年も去る2月25日から2日間、市内の産業振興センターで催されました。

今年のトーハツは、MD115A2エンジン搭載のTF-250SC艇をはじめ、和船のTFW-17Rやプロユースにも好評なTFW-25Aなども出展。特にTF-250SCに対するユーザーの反応は格別で、機能的なデッキアレンジ等を食い入るように見つめると共に、販売スタッフにも積極的に質問していました。

同ボートショー会期中の入場者数は、約2,000人。トーハツをはじめ参加した各メーカーとも本格的なマリンシーズンを控えて、それぞれ手ごたえを感じたようです。

(マリン関東/飯島)



ら、4ストロークシリーズまでのフルラインアップに加え、バッテリー不要の電子制御燃料噴射装置を採用した4ストローク25/30馬力なども展示。技術の先進性を示しました。

ボート部門では、キャビン付きモデルのフラッグシップ「TF-250SC」にMD115A2船外機を搭載したセット艇を展示。また和船では、最近特に人気の高い「TFW-25B」に船外機MD90C2を搭載したセットで出展。従来とは一味違ったトーハツ製品の新しい魅力に気軽に触れて頂けるよう、展示にも細心の注意を心がけました。これが功を奏したのかトーハツブースで足を止め、じっくり品定めして行くユーザーが多く見られ、また近県から訪れた沢山の販売店様もくつろいだ様子で商談に応じていました。

設立80周年を迎えるこの期を捉え、“マリンシーズン IN”へ大きな飛躍が期待される春のボートショーでした。

(マリン課/榎本)



## 関西地区の船外機パイロット店向け講習会 2会場で開催

トーハツ船外機の関西地区サービスパイロット店向け技術講習会が、去る2月21日・23日、中国ブロック、近畿ブロックの両会場に分けて開催され、中国ブロックが岡山県倉敷市で、また近畿ブロックは大阪市でそれぞれ行われました。今回はサービスパイロット店にとって一番悩みの深い“腐食”とそのメカニズムが主なテーマで、講師はトーハツサービス室の山田氏、サブ講師は同サービス室の松村係長が務めました。

“腐食”については何となく理解しているものの、そのメカニズムとなると明確に答えられる方は少ないようです。この度参加された両会場の受講者の方々も事情は似たり寄ったり。実験を交えた講習に皆さん興味津々の体で聞き入っていました。今後のメンテナンスや拡販に大いに役立てて頂ければと思います。

ご多忙のところご参加頂きましたサービスパイロット店様には厚くお礼申し上げます。

(マリン関西/福松)



# 島原市の消防団が 機関員講習会

武家屋敷など旧城下町の風情を色濃く残す観光都市・長崎県島原市の消防団が、去る2月16日、春日市のふれあい文化センターで機関員技術講習会を実施。同市の消防団員など約40名が参加して可搬ポンプの内部構造や操作技術などを受講。緊急時に備えるべく熱のこもった研修が行われました。

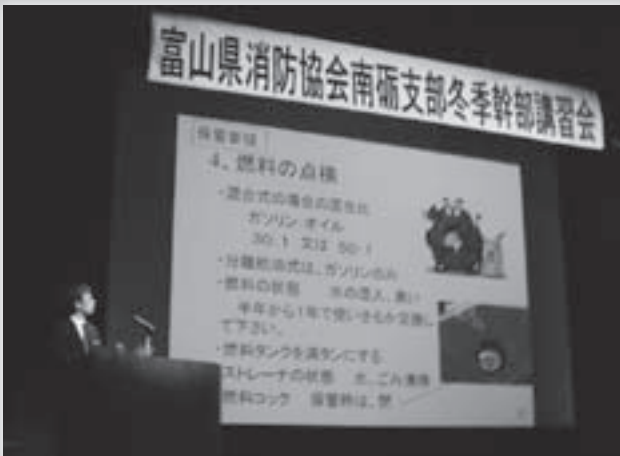
この日の総仕上げは、最近人気上昇中の4サイクル可搬ポンプVF53ASを用意して行われた消防団員による実演運転。団員一同、エンジン音の静粛性など4サイクルエンジンの素晴らしさに圧倒されながら、ポンプ操作にやや興奮気味で対応していました。

ご参加頂いた島原市消防団員の皆さん、大変お疲れ様でした。  
(防災九州/田中)



## 南砺市消防団の冬季幹部講習会 トーハツが「ポンプ取扱い講習」で協力

日本の世界遺産の一つ“五箇山集落”を擁する富山県南砺市では、去る2月19日、消防団の冬季幹部講習会を実施したのに伴い、トーハツは同市消防団への協力の一環として可搬消防ポンプの取扱い説明などを行いました。



講習会場は同市の伝統芸能会館“じょうはな座”。当初の予想をはるかに上回る約300名の団員が参加。開会の冒頭、挨拶に立った斉藤消防団長が、消防団合併時の思い出話を交えながら震災発生時などの団員としての心構え等について述べ、この後さっそく消防ポンプの取扱い方法についての説明会に入りました。

山間部の多いこの地域は、冬の酷寒季には凍結によるポンプの破損なども懸念され、また消防団員も使用後の処置方法やメンテナンスへの関心が高いことから、質疑応答を交えつつこの問題にも詳しく触れる内容となりました。世界遺産の防災を担う同市の消防団員は、とりわけ向上心も強く、説明に耳を傾ける真剣な眼差しが印象に残りました。

次の機会には、中継送水などについてもサポートさせて頂ければと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(防災営業部/福田)

## 桑名市の消防団合同訓練に トーハツが機関員講習会で協力



“その手は桑名の焼きハマグリ”などと言う洒落言葉があるように、昔からこの地域の魚介類のおいしさは格別です。東海道五十三次の宿場町に当たるその桑名市で、去る3月4日、市内消防団員の技術力向上のための合同訓練が行われ、トーハツは消防ポンプの操作及び取り扱い方法などの講習を担当することで、側面から応援させて頂きました。

普段から全自動消防ポンプ積載車を使用し防災活動に当たる消防団員にとって、とりわけ気になるのが使用後のメンテナンスで、全員真剣な表情で講師の説明に耳を傾けていました。また中継送水などについても多くの質問が寄せられ、地域防災へ意識の高さを窺わせました。

トーハツでは今後も消防団員の防災活動を、ポンプの技術面からサポートさせて頂きます。皆さん大変お疲れ様でした。

(防災営業部/福田)

## 関西地区のトーハツポンプ技術講習会 大阪／岡山 両会場を実施

ユーザーとの信頼関係の構築に不可欠なのが細やかなメンテナンス。この度行われた関西地区ポンプ技術講習会は参加希望者が多く、2月23日が大阪会場、翌24日が岡山会場と、2箇所に分散して実施。参加者は両会場とも同数の18名で、合計36名。文字通り熱の入った勉強会になりました。



今回のテーマは、最近出荷台数がグーンと伸びている4ストロークポンプのメンテナンス技術に絞られ、これが

とりわけ人気を呼んだようです。ちなみに講義内容

は、点検・整備方法からダイアグキットを使ったトラブルシューティングまで。普段からポンプの点検・整備には慣れている販売店の皆さんも、さすがに2ストロークとの違いに戸惑っている様子が窺えました。また今回参加された方々の中には、メンテナンスのみならず販売にも役立てようとする受講者が多く、講師側もおおいに元気付けられました。

年度末のご多忙なこの時期、遠方よりご参加頂いた販売店の皆様には厚くお礼申し上げます。

(防災関西／田村)



## 各委員から貴重なご意見 トーハツポンプ販売技術委員会

より優れた製品造りを推進するための第37回「トーハツポンプ販売技術委員会」が、去る2月10日、販売技術委員7名、トーハツから16名が出席して本社会議室で開催されました。

新製品の提案に対し、出席した7名の委員からは、機能や技術的な問題点から販売面まで、様々な注文や提案など貴重なご意見を多数頂きました。

トーハツでは、各委員から要望として提案された改善内容を踏まえ、更に検討を加えることで、時代を先取りした製品造

りを目指したいと考えています。大変実り多い検討会でした。ご出席頂いた各販売技術委員会の皆様には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部／高橋)



## 中国の消防幹部が トーハツで研修



去る3月2日、中国の消防幹部が、研修のため(財)日本消防協会の招きで来日。同日トーハツで可搬消防ポンプなどについての研修が行われ、ポンプのデモンストレーションや質疑応答などカリキュラムが順調に消化されました。

また、この後には最新のトーハツ船外機を見学。更にお台場までのボート研修を行い、臨海都市東京の景観を船上から満喫。中国研修生は、大満足裡に帰国の途につきました。

ご協力頂いた関係者には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部／宮川)

# 東京消防庁へ「VC72BS」可搬ポンプ他 中継媒介金具「コワレンゾー」874台

## 相次ぎ大量納入



東京消防庁への可搬消防ポンプ納入時に実施される完成品検査が、去る2月2日、同庁の検査官5名と販売店の東京物産(株)立会いの下、トーハツ本社で行われました。この度の納入は、「VC72BS搭載の台車セット」43台と大量納入のため、消防ポンプや台車、消防資機材の確認作業など準備に追われました。

当日は、検査官と共に、仕様書との整合性や員数など細目にわたり精査。更に外観、寸法、質量を測定。また放水や騒音測定も行われ、いずれの検査も無事クリア。即日、東京都内の主な消防署に配備されました。



この「VC72BS」の納入に引き続き、去る2月16日には、同じく東京消防庁による都内の消防団向けに逃し弁付き中継媒介金具「コワレンゾー」874台の納入日を迎え、3名の検査官が東京物産(株)立会いの下、同製品の完成品検査を実施。仕様書との整合性から外観、寸法、質量、開弁圧測定など全てクリア。これも即日、都内の主な消防団に配備されました。

この度の874台という大量納入が実現したのは、非常時複数の可搬消防ポンプを連携して消火活動にあたる中継送水システムの有効性が見直された結果と言えます。納入待ちの874台を一時保管した旧東京工場は、さしずめ「コワレンゾー」の“倉庫”の風情でした。

トーハツ可搬消防ポンプ「VC72BS」、及び中継媒介金具「コワレンゾー」をご採用頂いた東京消防庁関係者様、また納入にご尽力頂きました東京物産(株)様には誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/小鷹)



## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美/青山 滋